

小 4 (新小 5)	受験 番号		氏 名	
---------------	----------	--	--------	--

入塾試験サンプル

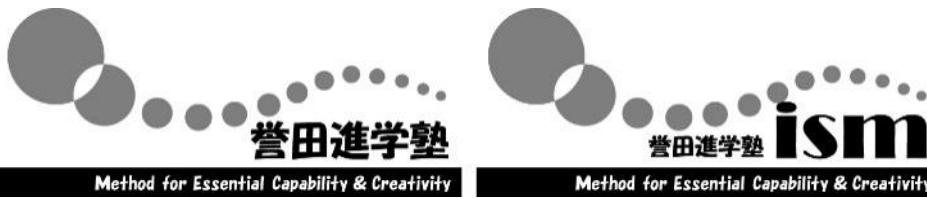
小 4 (新小 5)

国 語

[ご注意]

- この「入塾試験サンプル」は、実際の入塾試験よりも問題数を減らしたサンプル版となっています。
- 実際の入塾試験では、問題によってはやや難易度が高い問題が出題される場合もあります。
- 実際の入塾試験も、問題冊子と解答用紙は別々に分かれていますので、本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

この問題は誉田進学塾が作成したものであり、著作権は誉田進学塾グループに帰属します。ご利用は入塾を希望するご家庭の学習目的に限り、権利者の許諾を得ずに複製、販売、またはウェブサイトへの掲載等を行うことを禁止します。



1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

(1) 道を平らにする。

(2) 羊毛でできたセーター。

(3) 駅の終点でおりる。

(4) 近世の文学をしらべる。

(5) 国語の時間にタンブンを作る。

(6) 号令でギリツする。

(7) 太陽が大地をテラス。

(8) イフクをきれいにととのえる。

2

次の——線部のカタカナを、漢字で書いて答えなさい。

(1) 夜がアける。

(2) 通路をアける。

(3) まどをアける。

(4) カンシンして声をかける。

(5) 強いカンシンを示す。

3

(れい) にならって、次のそれぞれの文の「」の中のこ

とばを、ていねいな言い方に直して書きなさい。

(れい) 服を「買う」。▽(答え) 買います

(1) 夏の日中、外に出ていたので、のどが「かわく」。

(2) この町は活気にあふれ、とても「にぎやかだ」。

(3) 今日は天氣が悪いので、だれも外に「出ないだろう」。

(4) ぼくは、明日の予定をよく「たしかめなかつた」。

次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

今日の朝食は目玉焼きでした。あなたはいつもしょうゆで食べますか。□①ソースで食べますか。しょうゆとソースはどちらの色も黒く、見た目は似ていますが、それぞれどのように生まれたのでしょうか。

①しょゆが生まれた説はいくつもありますが、中国の「ひ

しお」から生まれたという説と、日本古来の「たまり」から生まれたという説が有名です。中国の「ひしお」というのは、食べ物を塩でつけたものです。一方、日本の「たまり」といいうのは、味噌などからとれる液体を指します。

現在では、食品の保存は技術が進んだことによつて、かんづめ冷凍保存、乾燥させて保存するフリーズドライなど様々な方法があります。□②昔は、食品の保存といふのは人々を悩ませる重要な問題でした。そこで、昔の人々が考えた保存の方法が「塩漬け」です。食品を大量の塩といつしょにつけなどに保存することで、食品をくさらせる微生物が発生しなくなるという方法です。□③その代表的な食べ物には「つけもの」や「キムチ」があります。しょうゆも、②その過程

から生まれたものです。塩の濃度が高いほどくさりにくくなるために、しょうゆは長い時間保存することができます。
しょうゆの原料は大豆、麦、米などをつかつて作ります。その原料の分量や作り方を変えることで、「たまりじょうゆ」「こいくちじょうゆ」「うすくちじょうゆ」など様々な種類のしょうゆができます。

地域によつてじょうゆの好みは違います。関東では「こいくちじょうゆ」が好まれるようです。一方、関西では「うすくちじょうゆ」を使う料理が多いです。日本の和食には、じょうゆの存在が欠かせないものとなっています。

④健

康食として日本食が海外で人気になり、しょうゆも海外に広まっています。

一方、ソースはイギリスのウスター市のある家庭で起つた偶然の出来事がきっかけだつたと言われています。十九世纪に市内に住む主婦が、余つた野菜や果実の切れはしを有効に利用しようと香辛料をふりかけてつぼに入れ、くさらないように塩や酢を加えて貯蔵しておきました。それが長い時間をかけて、肉や魚、野菜にも合うソースになつたと言われて

います。他にも、日本のしょうゆをヒントにソースが出来たという説もあるそうです。

ソースが日本に伝わったのは明治時代と言われています。

当時はソースがかかったものは何でも洋食と言われていたようです。これまでの日本人はしょうゆを料理の上にかけて食べていました。同じようにソースもかけて使おうとしたところ、当時のソースは味が濃く辛かつたため、日本人の口に合うように果物や野菜を入れて改良されました。現在では様々な種類のソースが生まれていますが、^③それらは日本人が独自に改良したものなのです。

(1) ・・・に入るふさわしいことばを、それぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア しかし イ さらに
ウ たとえば エ それとも

(2) この文章は大きく二つに分けることができます。後半はどこからはじまりますか。それはじめの五字を、文章に書かれているそのままの形で書きつつして答えなさい。

(3) —————線①「しょうゆが生まれた説」とありますが、その答えとしてふさわしくないものを次から一つえらび、記号で答えなさい。

- ア 味噌みそなどからとれる液体からうまれた。
イ 中国の「ひしお」から生まれた。
ウ 「塩漬け」をしている中で偶然生まれた。
エ ソースをヒントにして生まれた。

(4) ———線② 「その過程」^{かてい}とは、どんな内容ですか。二
十四字（「、」や「。」も字数に数えます）で書かれているそ
のままの形で書きうつして答えなさい。

(5) ———線③ 「それら」とは、何をさしますか。十字以
内（「、」や「。」も字数に数えます）で答えなさい。

(6) ソースについて、本文に書かれている内容として正しい
ものを次から一つえらび、記号で答えなさい。
ア 昔のソースは味が濃く^こ、辛かつたため、日本人の口に
合わなかつた。

イ ソースがかかつたものは現在でも洋食と呼ばれている。
ウ ソースはしようゆをヒントに、分量や作り方を変える
ことで様々なソースが生まれた。
エ 日本人が独自に改良したソースは海外にも広まってい
る。

(一)で問題は終わりです。)

解答

1 (1) たい
しゅうてん (2) ようもう
短文 (4) きんせい
(6) 起立 (7) 照
(8) 衣服

2 (1) 明 (2) 空 (3) 開

感心

(5) 関心

3

(1) かわきます
にぎやかです
出ないでしよう
たしかめませんでした

4

(1) エ (2) ア (3) ウ (4) イ

『解説』接続語の問題です。接続語は文と文をつなぐはたらきのことばですので、必ず前後の文章がヒントになります。(1)から順番に解くより、まず全部の問題を確認し、わかりやすいものから答えましょう。

(2) 一方、ソ一

『解説』前半はしようゆについて書かれており、後半はソースの話題になります。問題の条件にも注目しますよう。

3 (3) エ

『解説』選択問題の場合は、選択肢を見る前にある程度答えを考えてから選んでいきましょう。選択肢の内容に惑わされて正しい答えが選べないことがあります。「ふさわしくないもの」を選ぶという問題の条件にも注意してください。

4 食品を大量の塩といっしょにつぼなどに保存すること

『解説』指示語の問題です。指示語の内容は必ず前の内容を指しますが、まずは指示語の直後を確認しましょう。直後に「その過程から生まれたものです。」とあります。そこで、どのように生み出されたものかという内容を前の文章から探ししましょう。

5 様々な種類のソース

『解説』指示語の問題です。(4)の解説を参考ください。

6 ア

『解説』このような正誤問題のポイントは、文章に「書かれていない」内容の選択肢を見極められるかです。本文の内容に書かれていないことは、内容的に正しくても正解とはなりません。選択肢だけで判断せず、選択肢の内容が書かれている文章の部分を探して確認することが大切です。

★ 入塾試験を受けるみなさんへ

国語の勉強のポイントは、「つづける」ことです。すぐに力がつく科目ではありません。苦手に感じる人は、国語のセンスがないと思っている人が多いですが、それはまちがいです。

国語は、つづけることで必ず力ができます。努力した分、伸びる科目です。他の科目よりも結果に結びつくのに時間がかかるだけで、しっかりと向き合っていけば、努力を裏切らない科目なのです。

勉強は楽しいものです。点数や結果ばかりにとらわれず、考えるおもしろさをたくさん感じてほしいと思います。たとえ難しい問題が出てきても、あきらめずに取り組んでいけば、考える力が身につきます。

たくさんのことにチャレンジして、ぜひ自分の力にしていくください。この入塾試験を通して、考える楽しさを感じてほしいと思っています！

おうえん
応援しています！